

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	防犯事業(サブテーマ 環境美化事業) 【事業費予算 600 千円】
事業目的・概要	西区は特殊詐欺、自転車盗難の被害が新潟市のなかでも多く発生していることから、被害防止に向け、実際に被害に遭っている(狙われやすい)年齢層を対象に各種防犯活動に取り組んだ。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	①特殊詐欺防犯講演会 11月16日(土)黒崎市民会館にて、三流亭楽々氏から落語による笑いを交えた講演「笑って楽しく防犯落語」、新潟西警察署刑事課から多発している特殊詐欺の実態と防犯対策についてご講演いただいた。参加者は約150名。 ②自転車盗難防止キャンペーン 自転車盗難が多く発生している区内の駅(小針駅、内野駅、内野西が丘駅)において、被害に遭っている近隣の高校の生徒会と協働で、駅の利用者に啓発用ポケットティッシュを配布し、自転車の施錠を呼びかけた。 ③ポイ捨て防止看板 ポイ捨てに悩まされている地域の不法投棄ごみ減少を目的に看板を作成し、希望するコミ協、自治会に配布した。
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	【成果】 講演会については、事後アンケートで全体の96%の参加者が「非常によかった」「よかった」と評価するなど非常に満足度の高い事業となった。近年増加している特殊詐欺の実態や防犯対策について、実例を基に多くの区民に学んでもらうことができた。 防犯キャンペーンについては、自治協議会と高校生が協働で実施することで、多くの駅利用者に施錠の大切さを周知することができた。区内の自転車盗難件数も昨年と比較して減少傾向にあることから、事業の目的は概ね達成されたものと考ええる。 ポイ捨て防止看板については、効果的なデザインや文言について十分に研究を行って作成した。配布先の団体に対して実施した効果検証アンケートでは、ほぼ全ての団体から「ポイ捨てが減った」と回答を得たことから、ポイ捨てに対して非常に効果的な事業となった。 【総括】 防犯事業については、両事業とも取り組みに至った背景や目的、被害に遭いやすい対象を絞り込み、それぞれの対象にマッチした手法で事業を展開したことで、その過程や準備も踏まえて非常に収穫の多い事業となった。ポイ捨て防止看板についても、検討・作成→周知・配布→効果検証と順序を立てて事業を展開することができた。
備考	